



関東は先週から梅雨入りしました。じめっとして過ごしにくいですが、外出自粛で家での楽しみ方が少しずつわかってきた気がします。自分のご機嫌を取るための方法をお教えします。

梅雨の楽しみのひとつが、手作りしたストームグラスを見ることです。ストームグラスとは、天気によって結晶の量が変わるもので、19世紀から天気の予測に使われていたといわれています。雨の日は羽根のような結晶ができ、晴れの日には小さな結晶が沈殿します。このストームグラスは、エタノール、精製水、樟脳、硝酸カリウム、塩化アンモニウムを混ぜて作りました。難しい工程はなく、きっちりと分量を量って、混ぜるだけでできあがります。大人の見守りがあれば、自由研究にもぴったりの題材です。耐熱ねじ口瓶は、もちろん耐薬品性がありますので、ストームグラス作りに向いています。出来上がってからすぐ天気がわかるわけではなく、1～2週間環境に慣れさせることが必要です。これが愛着に繋がっています。目的は天気の予測ではなく、日々変化するストームグラスに癒やされることになってきています。

私が続けている梅雨のすゝめは、傘にアイロンをかけることです。傘を貸してくださった方が次の雨の日に気持ちよく使えるようにと考えて思いついたことです。傘は繰り返し使っていると、どんどんシワが増えてきて、見栄えが悪くなってきます。傘を十分干してから、適温でアイロンをかけるとシワがなくなってキレイになります。ぜひお試しください。

vol.
139

Written by Nana Kanetaka

